

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	子ども会育成連絡協議会助成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	生涯学習課	担当者名 衛藤 剛
	基本事業	59	地域における子育て支援	所属班	生涯学習班	(内線) 2432
				法令根拠	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	10	5	1	10816			コスト削減優先度評価結果	6*16

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
子ども会育成連絡協議会への補助金の交付

【業務の流れ】
育成連絡協議会長からの補助金交付申請書を受理する。申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して、育成連絡協議会長からの請求書を受け、補助金を交付する。

【主な予算費目】
負担金補助及び交付金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 合志市子ども会育成連絡協議会(単位子ども会63団体)に対して、844,000円の助成金を交付。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 助成金の額 円 ⇒ イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市子ども会育成連絡協議会会員	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 子ども会育成連絡協議会の会員数 人 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合志市子ども会育成連絡協議会の活動を活発に行ってもらう。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 子ども会の行事数 回 ⇒ イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域で子どもを見守っている	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 子どもの安全に不安を感じる世帯の割合 % ⇒ イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	938	938	844	844	844	844	
	(A) 事業費計	千円	938	938	844	844	844	844		
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	6	6	2	3	2	2	2		
延べ業務時間	時間	390	390	10	45	10	10	10		
(B)人件費計	千円	1,548	1,552	40	179	40	40	40		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,486	2,490	884	1,023	884	884	884		
活動指標	ア イ	円	938	938	844	844	844	844	844	
対象指標	ア イ	人	3500	3414	3400	3244	3400	3400	3400	
成果指標	ア イ	回	4	4	4	4	4	4	4	
上位成果指標	ア イ	%	49.7	37.1	47	37.2	46	45	22 年度	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
市内の子ども会連合の支援を目的に始まったが、始まった年代は特定できない。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
子どもを対象にした悲しい事件事故が相次いで発生し、またいじめの問題がクローズアップされるなど、子どもを取り巻く社会的環境はますます厳しさを増している。
また、地域によっては子どもの減少により、地域を統合しないと子ども会活動が出来ない場合もある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特に聞していない。

事務事業名	子ども会育成連絡協議会助成事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 団体の支援を通して、積極的に子どもを見守る地域づくりにかかわってもらうことで、政策に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 子どもたちの育成に関わる大きな団体での地域づくりへの貢献が期待できるため、この助成事業は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 現状では対象意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 助成金の支払い事務なので向上余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 子ども会が取り組む地域からの子育て活動の推進を困難にし、団体の存続を脅かすことになる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に同様の事業は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 団体等への助成金は、市全体での見直しが必要であり、それに伴い金額が削減されることも考慮しなくてはならない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 子ども会連絡協議会の活動は活発で、また市全域にわたり子どもが加入している組織は他には無く、助成金のレベルに相応していると思われ、公正さは保たれている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性、②有効性、④公平性については ③効率性については、市全体での見直しに伴い、今後も削減される可能性がある。削減されても活動を維持できるような子ども会の運営をお願いしていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 各種団体の活動への支援は、対象からの依存ではなく自立を求めていくべきであるが、急激な変更は団体の活動、運営を停滞させる恐れもある。よって次第に変化させていき、自立した活動を行ってもらうようにする必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

団体の自立を促したいが、少子化の進行や加入率の低下により、地域の子ども会運営が厳しさを増し、活動できなくなる単位子ども会も出ている。その原因として役員への負担や子ども会への興味関心が低いことが考えられる。子どもたちにとっても親にとっても魅力的でやりがいのある事業を行っていくことや、団体の効率的な運営が必要だと思われる。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)